

児童がごみ収集業者に感謝の手紙

2020年06月15日 19時21分

北斗市では家庭から出されるごみ袋に、収集にあたる作業員に感謝の気持ちを綴った手紙が添えられているのが見つかり、作業員たちが励まされています。

手紙は今月6日、北斗市のごみ置き場で、ごみの袋に貼られた状態で見つかりました。

手紙には「新型コロナウイルスの感染が相次ぐ中、ごみを収集してくれてありがとうございます」といった感謝の気持ちや、「熱中症や感染に気をつけてください」といった励ましの言葉が綴られています。

手紙を書いたのは北斗市の小学校6年の女子児童2人で、ウイルスの感染リスクが伴う中、日々ごみの収集を行っている作業員に感謝の気持ちを伝えようと思いついたということです。

1人の女兒は、「一生懸命に働いてくれてありがとうと伝えたかった。気持ちが届いたようでうれしい」と話していました。

もう1人の女兒は、「少しでも力になりたいと思って手紙を書きました」と話していました。

ごみの収集を行っている清掃会社の専務は、「子どもたちの気遣いに感激して何度も手紙を読み返しました。涙が出るほどうれしかったです」と、話していました。